

日比谷花壇グループ、 花きのトレーサビリティ、鮮度管理・品質向上に取り組む中で

花き産業総合認証「MPS」における 「Florimark－GTP(Good Trade Practice)」〔花き流通工程管理認証〕を 卸会社の (株)フレネット HIBIYA が 日本で初めて取得

花き流通過程での環境への配慮や工程管理における透明化、効率化を通じて
花きの鮮度・品質管理におけるトレーサビリティ普及に取り組む

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)を中心とする日比谷花壇グループは、花きの仕入れ、管理、販売、商品制作から商品出荷、そして消費者であるお客様の手許に届くまで、一貫して環境負荷を低減し、流通過程の透明化を通して、品質向上を図る取り組みを行っています。

このような取り組みを行う中で、日比谷花壇グループで、生花・鉢物・資材の卸・輸入を行う株式会社フレネット HIBIYA(本社:東京都大田区、代表取締役社長:和田幸一)は、2008 年 12 月 11 日、花き業界の国際認証である「MPS」(花き産業総合認証)における花き流通向けの認証「Florimark－GTP(Good Trade Practice)」(花き流通工程管理認証)を日本国内で初めて取得。2009 年 1 月 16 日、日本における MPS 認証に関わる実務を行う MPS フローラルマーケティング株式会社を通じて MPS 認証書を授与されました。

今回、(株)フレネット HIBIYA が日本で初めて取得した「Florimark－GTP」(花き流通工程管理認証)は、花きの品質管理におけるトレーサビリティに加え、流通過程の環境への配慮や工程管理における取組みに対応した認証です。流通過程での花きの鮮度管理、受入れ検査、保管管理、在庫管理、トレーサビリティ等に加え、加工・処理、出荷、輸送、物流、プロセスマネジメント、中間品質検査、サプライチェーンにおける協力体制から、社会組織、倫理、環境、従業員規定、トレーニング、衛生、安全管理にいたるまでが認証項目の対象となっています。事業活動全体を通じた徹底した品質向上への取り組みと工程管理のマネジメントの透明化、効率化のほか、自社スタッフはもちろんサプライチェーンとなる協力会社の品質・鮮度管理等に対する意識向上への教育等、様々な取り組みが審査・評価され、認証を取得するに至りました。

農産物においては、環境配慮の必要性、事業者責任の明確化、流通過程の透明化、トレーサビリティなどが社会から強く求められています。花き業界においても同様と考えており、このような中、生産から流通まで一貫して環境負荷を低減し、流通過程の透明化を通して品質の向上を図る取り組みが必要であると考え、流通過程から、販売、商品出荷、お客様へのアフターフォローまで、日比谷花壇グループとしてこれまで取り組んできた品質向上、鮮度管理、工程管理などをさらに透明化・効率化することを含め、MPS 認証の取得に取り組みました。

フレネット HIBIYA の「Florimark-GTP」取得により、日比谷花壇グループは、サプライチェーンマネジメントを通じて、一貫した花きの品質・鮮度向上に取り組み、環境に配慮した花を流通・小売の立場から支え、社会に豊かな花文化を創造していきます。また今後も、お客様への価値を創造できるサービスを追求し、花き消費拡大への取り組みを進めていきたいと考えています。

MPS とは

MPS は、花き業界の総合的な認証システムで、1994 年から、花きの先進国であるオランダで、環境負荷低減プログラムとしてスタートしました。その後、2004 年に花き流通業における ISO と呼ばれる認証システム Florimark と合体し、さらに EUREPGAP(ユーレップギャップ: 農業における生産から流通における製造工程基準を定めたもの)のベンチマーク認証となり、生産から流通までが一体となった花き業界全体としての取り組みに対する認証システムとなりました。MPS は現在、世界 35 ヶ国、4500 団体が認証を取得しており、日本においては、2007 年より導入が始まっています。

株式会社フレネット HIBIYA について

東京・大阪をはじめ、福岡・名古屋・仙台に営業拠点を持つ花の卸会社。

(株)日比谷花壇の仕入部門として仕入業務を行い、1974 年、(株)フレネット HIBIYA の前身となる(株)日比谷商事が設立。その後、日比谷花壇の資材卸会社、生花輸入販売会社、卸事業会社の再編・統合を経て、2004 年に(株)フレネット HIBIYA 設立。

現在、大田市場・鶴見市場・福岡市場での仲卸事業とともに、当社バイヤーが全国各地で買付けた産直生花、オランダ・コロンビア・ケニアなど世界各国からの自社直輸入生花、鉢物や資材なども販売しています。切花向け生花は箱単位での販売のほか、束単位での小ロット(小分け)販売も行っており、日比谷花壇向けの供給はもとより、一般生花店、フラワースクール、大手量販店など外部への販路を拡大し、あらゆるニーズにあわせた卸事業を行っています。また生活雑貨やインテリア商材等、花と緑に関連する商品の開発と販売を手掛けています。

ホームページ: <http://www.frenet-hibiya.co.jp/>

日比谷花壇グループについて

1872 年に創業し、1950 年設立した、全国約 190 の店舗展開とオンラインネットワーク事業により、フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行う、花き小売の(株)日比谷花壇、生花・鉢物卸の(株)フレネット HIBIYA、ランドスケープデザイン事業を行う(株)日比谷アメニスをはじめとした、花と緑を扱う 12 社による企業グループ。

“花と緑を通じて豊かな社会づくりに貢献する”ことをグループの理念に、様々なシーンで花と緑ある環境を提供し、花と緑をあつかう企業だからこそ創造できる豊かな社会づくりを目指し事業展開しています。

(株)日比谷花壇 企業サイト: <http://www.hibiya.co.jp>